

北興化学工業株式会社

2024年11月期決算説明資料

2025年1月14日

東証スタンダード 証券コード4992

決算説明資料目次

I	2024年11月期決算ハイライト	2
II	2025年11月期連結業績予想	13
III	第2次3ヵ年経営計画(2024年度～2026年度) への取組状況	17
【参考資料】		
	2024年11月期決算時系列データ	19

I 2024年11月期決算ハイライト

I 2024年11月期決算ハイライト <①連結業績概況>

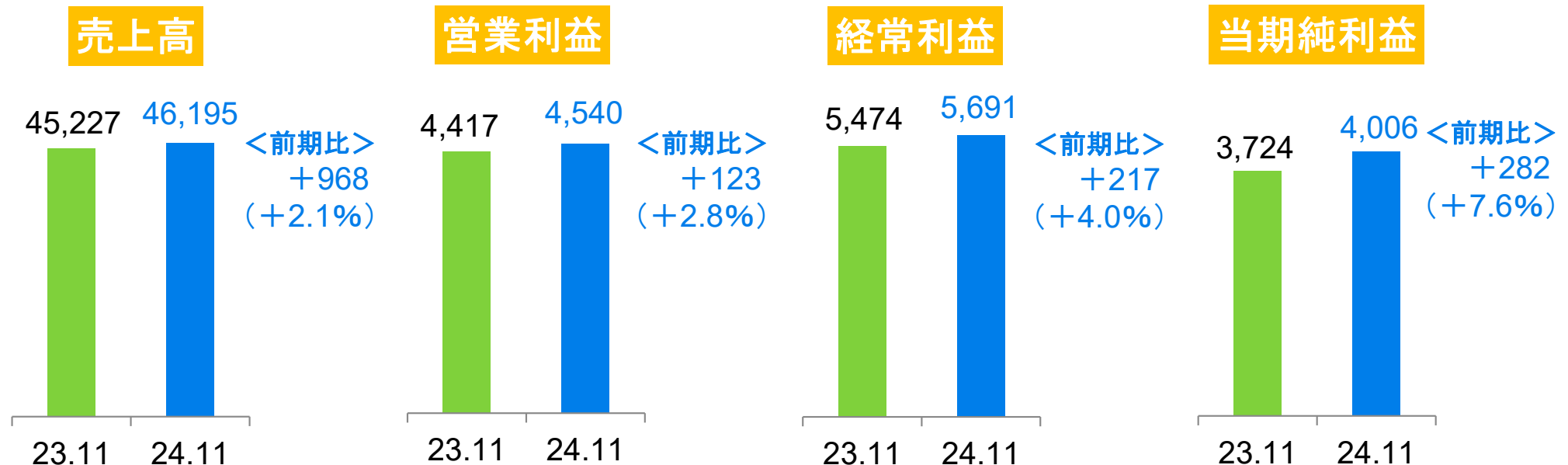
➤ 売上高

- 農薬事業の販売が順調に推移したことなどから、46,195百万円、前年同期比968百万円(+2.1%)の**増収**
- ◆農薬事業は、国内販売が水稻剤・園芸剤ともに堅調に推移したことや、海外販売がブラジル・インド向けを中心に増加し、為替の円安も寄与したことから**増収**
 - ◆ファインケミカル事業は、医農薬分野が減少したものの、電子材料分野が伸長したことや中国子会社における中国国内販売が増加したことから**増収**
 - ◆繊維資材事業は、産業用繊維素材の販売増加により**増収**

➤ 営業利益・経常利益・当期純利益

- 営業利益は、農薬事業の売上高増加を主因に、4,540百万円、前年同期比123百万円(+2.8%)の**増加**。
 経常利益は、受取配当金の増加等により、5,691百万円、前年同期比217百万円(+4.0%)の**増加**。
 親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益(198百万円)の計上および税金費用の減少により、4,006百万円、前年同期比282百万円(+7.6%)の**増加**

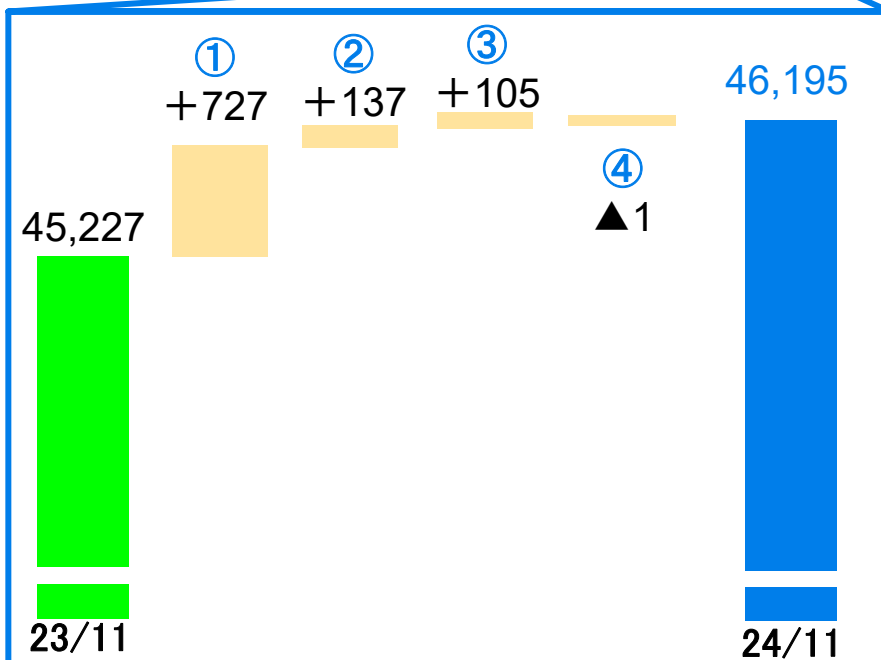
(単位:百万円)



I 2024年11月期決算ハイライト <②連結業績 売上高増減要因>

(単位:百万円)

	2023年度	2024年度	前年同期比
農薬事業	25,931	26,658	+727
ファインケミカル事業	17,470	17,607	+137
繊維資材事業	1,813	1,919	+105
その他	13	12	▲1
合計	45,227	46,195	+968



①農薬事業 +727百万円

- ◆国内販売+632百万円
- ◆海外輸出+96百万円
(以上、単体)

②ファインケミカル事業 +137百万円

- ◆樹脂分野+453百万円
(石化用触媒+902、その他樹脂原料▲576)
- ◆電子材料分野+1,109百万円
(半導体関係+162、フォトレジスト用原料+1,047)
- ◆医農薬分野▲1,719百万円
(医薬:▲91、農薬:▲1,629)
(以上、単体)
- ◆中国子会社における中国国内販売が増加

③繊維資材事業 +105百万円

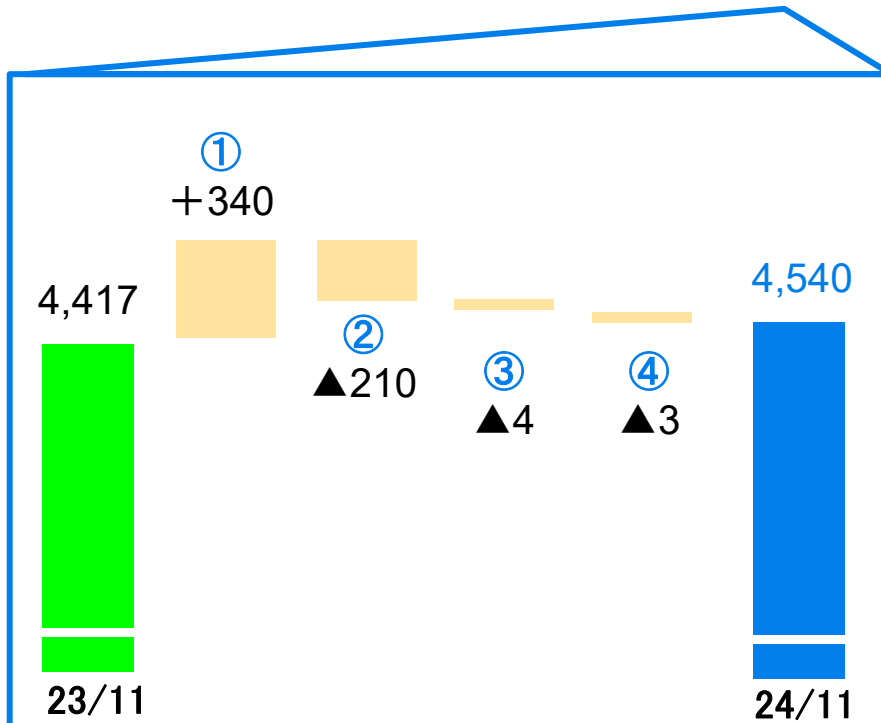
- ◆産業用繊維素材の販売増が牽引

④その他 ▲1百万円

I 2024年11月期決算ハイライト<③連結業績 営業利益増減要因>

(単位:百万円)

	2023年度	2024年度	前年同期比
農 業 事 業	65	405	+340
ファインケミカル事業	4,269	4,060	▲210
繊維資材事業	93	89	▲4
そ の 他	▲10	▲13	▲3
合 計	4,417	4,540	+123



①農薬事業 +340百万円

売上高の増加等により増益

	2023	2024
営業利益	65	405
※受取手数料 (営業外収益)	469	488
受取手数料込 営業利益	533	893

※製品の普及拡大支援のため、仕入れ先から受け取る手数料。経営管理上、営業利益に加算して管理

②ファインケミカル事業 ▲210百万円

中国子会社の主力品目である石化用触媒(TPP)の価格競争の影響や物流費の増加等により減益

③繊維資材事業 ▲4百万円

販管費の増加により減益

④その他 ▲3百万円

<参考> 営業利益の連単差

2024年度 673百万円(連結4,540-単体3,867)

2023年度 1,287百万円(連結4,417-単体3,130)

前期比 ▲613百万円

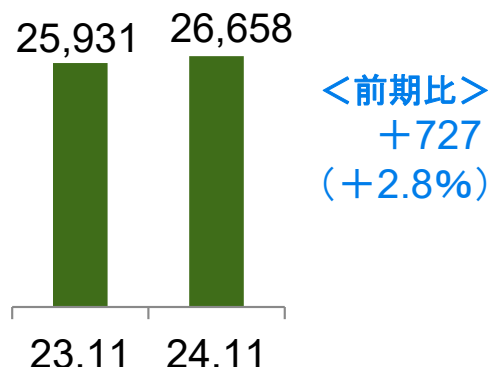
※主に中国子会社の減益が要因

I 2024年11月期決算ハイライト <④参考：連結業績(セグメント別)>

(単位：百万円)

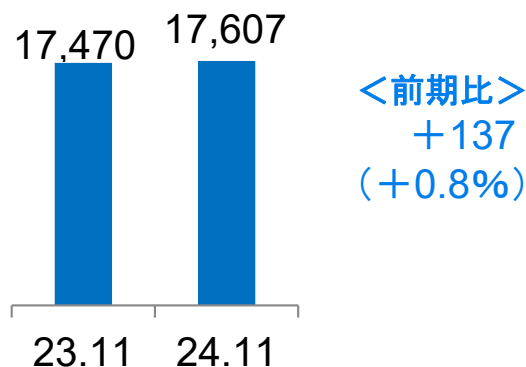
【農薬事業】

～増収増益～



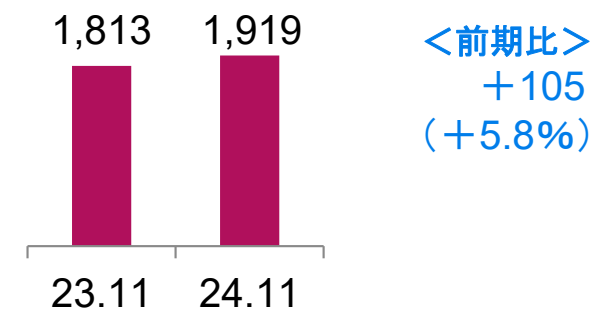
【ファインケミカル事業】

～増収減益～



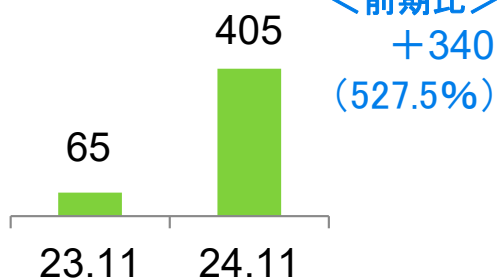
【繊維資材事業】

～増収減益～

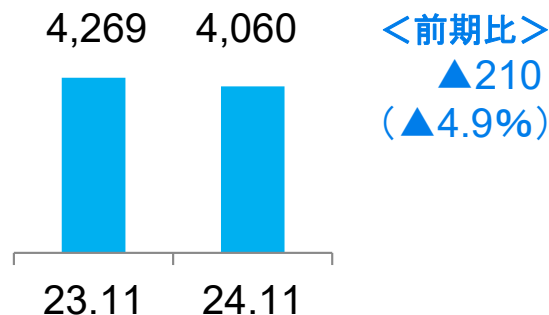


売上高

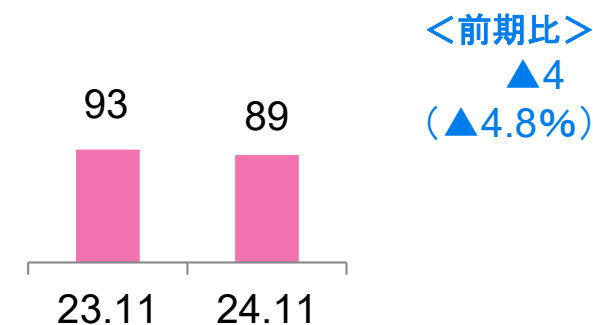
[0.2%] [1.5%]



[24.4%] [23.1%]



[5.1%] [4.6%]



営業利益

※営業利益額上方のカッコ内の%表示は、営業利益率

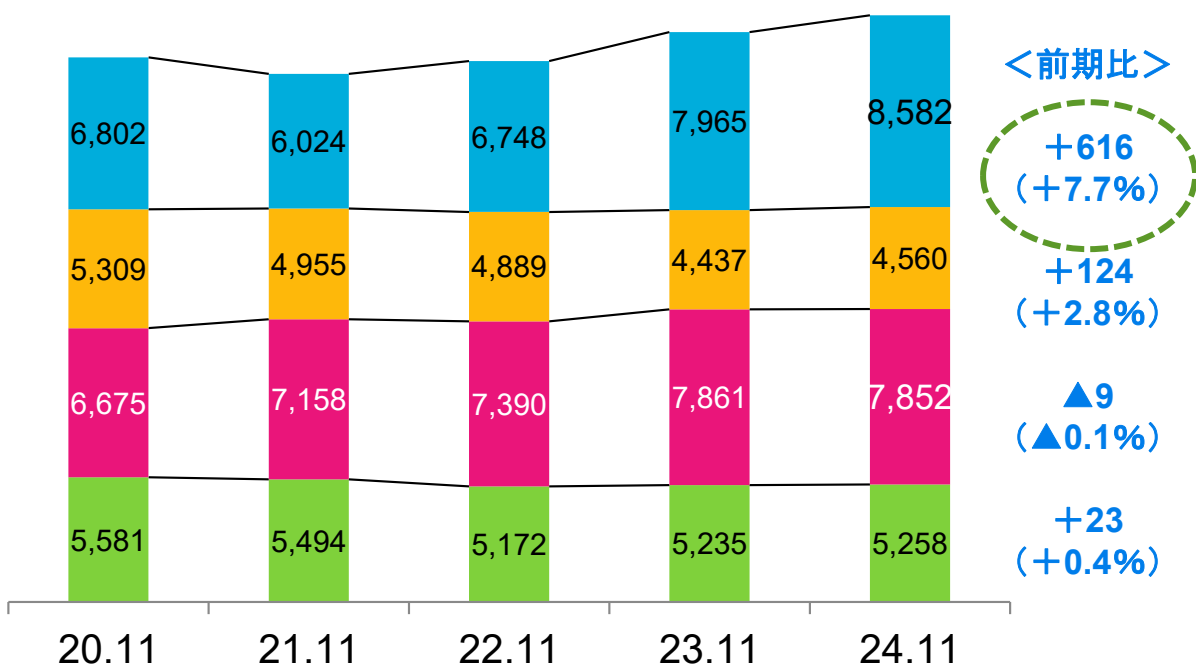


I 2024年11月期決算ハイライト <⑤農薬事業トピックス>

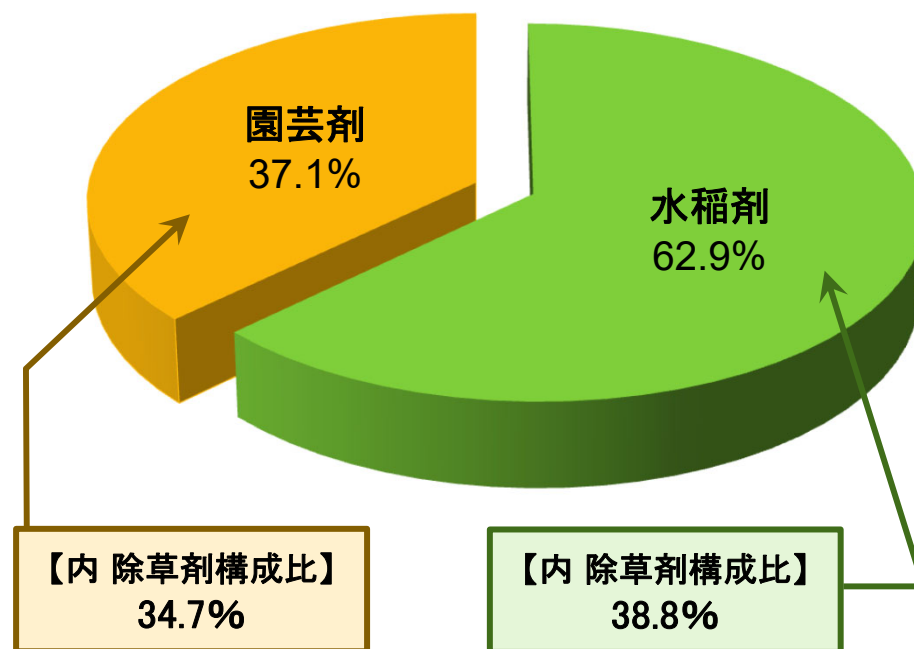
(単位:百万円)

種類別(単体)

■ 殺虫剤 ■ 殺菌剤 ■ 殺虫殺菌剤 ■ 除草剤



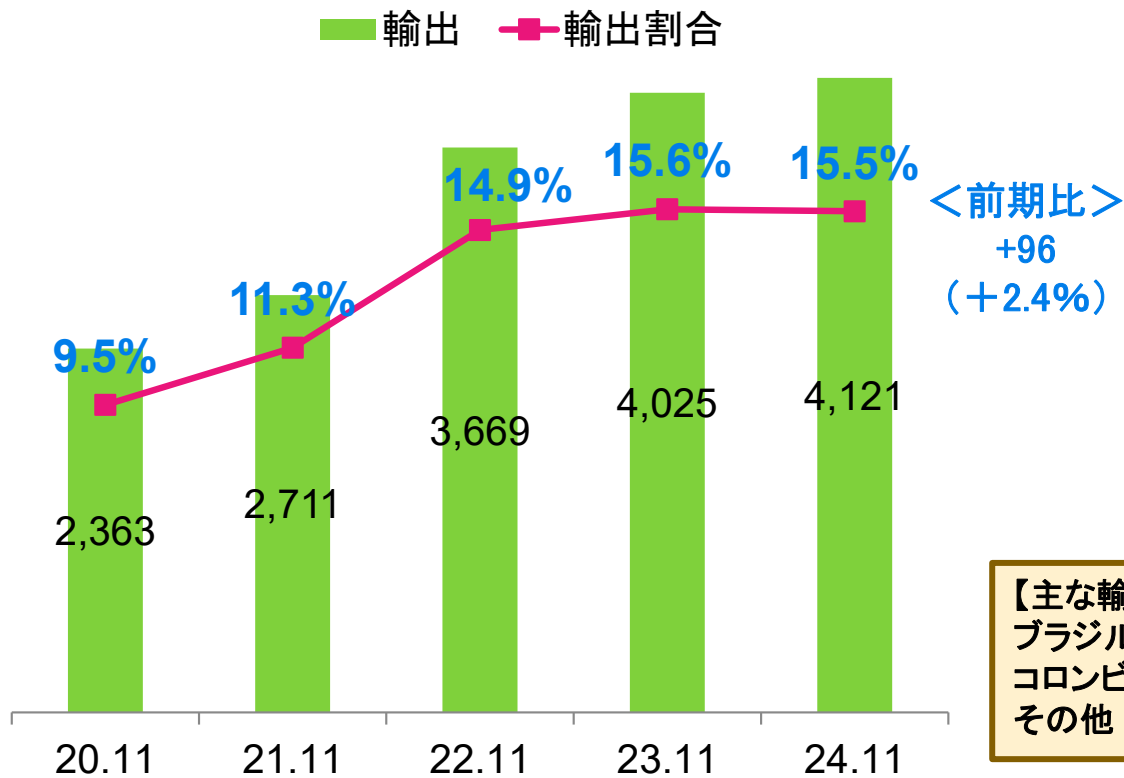
国内農薬売上の分野別構成(単体) (2024年11月期)



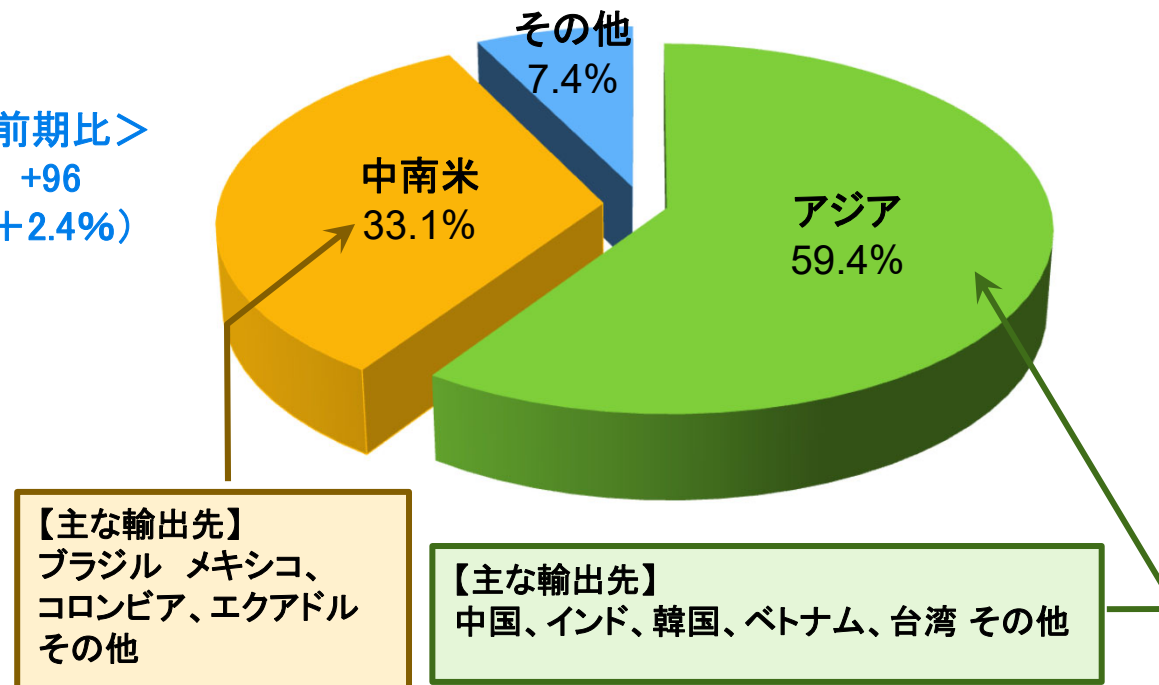
- 水稻剤においては水稻育苗箱剤ならびに除草剤が堅調に推移し、園芸剤においては特に除草剤(ザクサ液剤)の売上が伸張。分野別構成比としては、園芸剤が前期比で0.3ポイント増加

I 2024年11月期決算ハイライト <⑤農薬事業トピックス>

輸出(単体) (単位:百万円)



輸出地域別構成(単体)
(2024年11月期)



- 輸出売上高は、ブラジルやインド向けを中心に増加し、円安効果もあり、前期比で増収
- 輸出製品のメインはカスガマイシンだが、イプフェンカルバゾン(水稻除草剤)についても徐々に登録国を増やし(現在5カ国)、業績に寄与しつつある

I 2024年11月期決算ハイライト <⑥ファインケミカル事業トピックス>

(単位:百万円)

<主な前年同期比増減内容>

◆樹脂分野: +453百万円(+7.7%)

・石化用触媒: +902

(主にTPP)

・その他樹脂原料: ▲576

(塗料、コーティング剤等)

◆医農薬分野: ▲1,719百万円(▲57.4%)

(原料および中間体)

・医薬: ▲91

・農薬: ▲1,629

◆電子材料分野: +1,109百万円(+30.2%)

・半導体関係: +162

(半導体封止剤用の硬化促進剤: CPU、メモリー等)

・フォトレジスト用のモノマー原料: +1,047

◆その他: ▲360百万円(▲10.0%)

・食品飼料: ▲169

(TPP: ビタミンA、ベータカロチン用途等)

・防汚剤: +177

・エネルギー: ▲318

分野別(単体)

■樹脂 ■医農薬 ■電子材料 ■その他

<前期比>

▲517

(▲3.2%)

+453

(+7.7%)

▲1,719

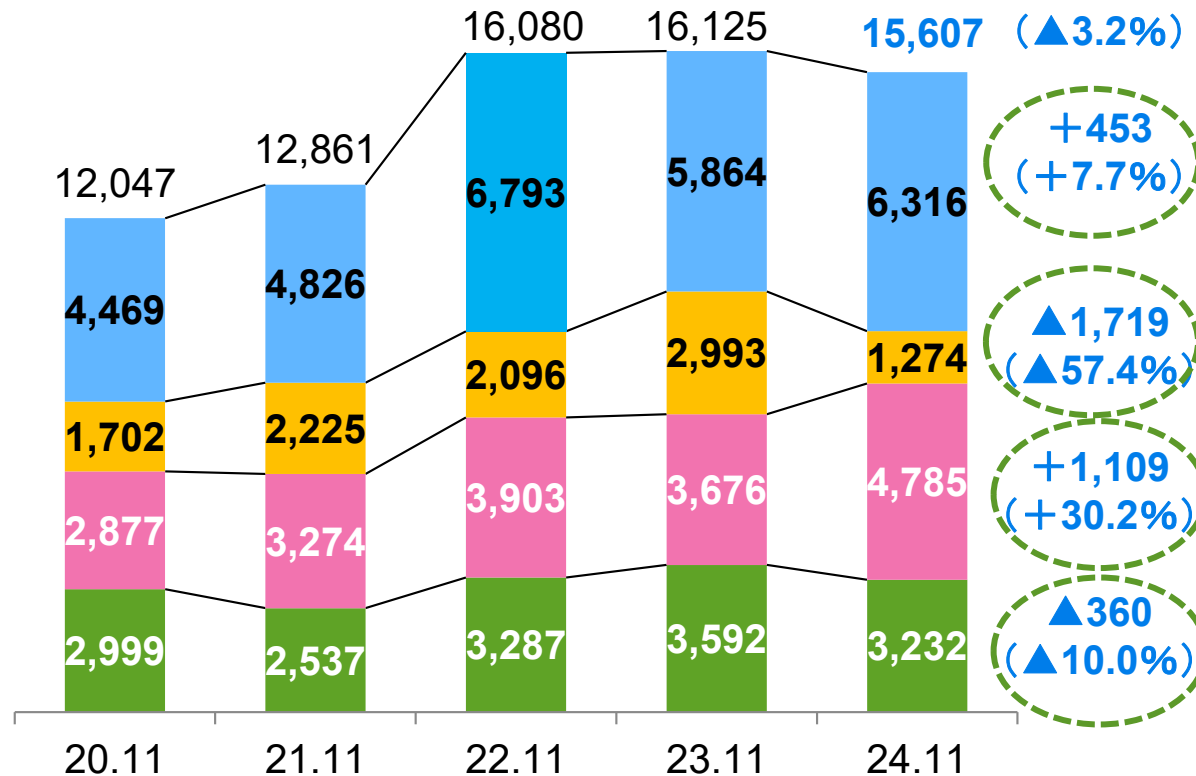
(▲57.4%)

+1,109

(+30.2%)

▲360

(▲10.0%)

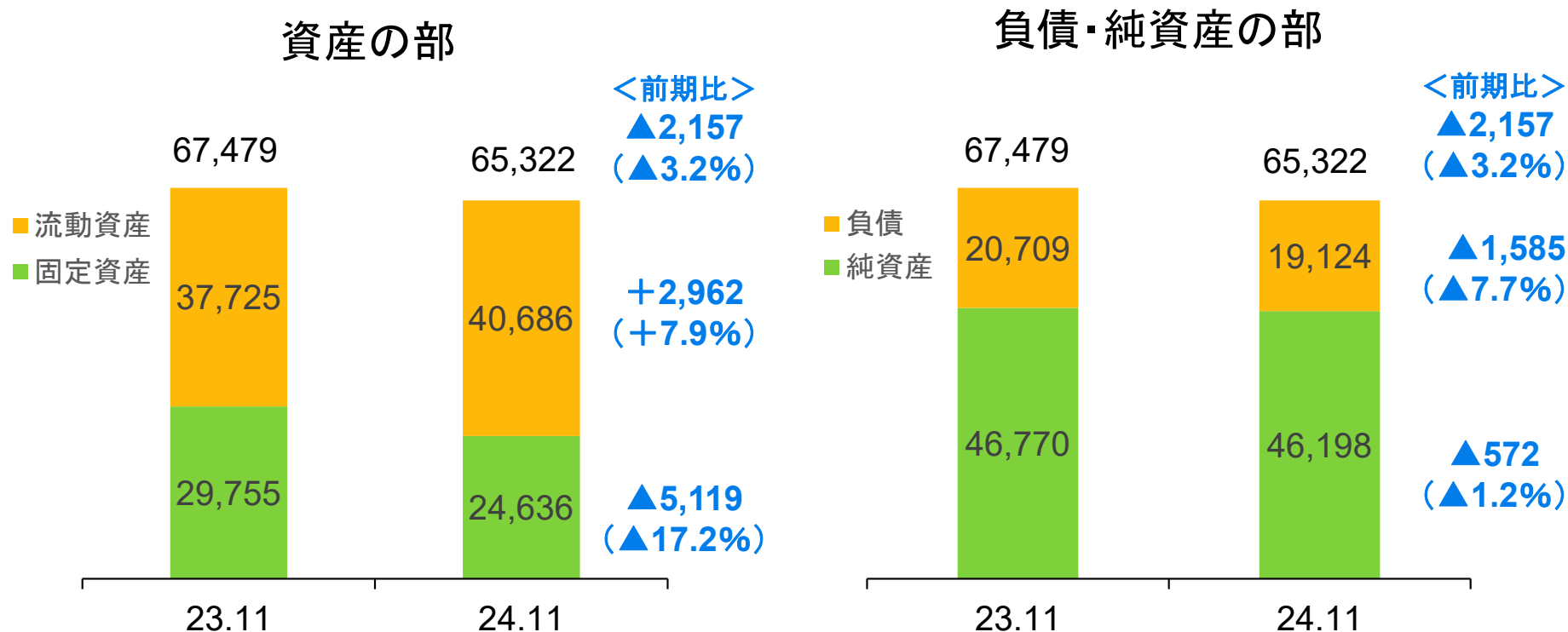


- 樹脂分野における石化用触媒や電子材料分野は増加
- 取引先の需給変動により医農薬分野は減少

*分野別 … 総売上高を当社の判断により各分野に分類しております。なお、上記総売上高には、収益認識に関する会計基準により売上高から控除される有償支給額等(2023/11月:515百万円、2024/11月:0百万円)が含まれております。

I 2024年11月期決算ハイライト <⑦連結貸借対照表>

(単位:百万円)



➤ 資産

- ・流動資産:フリーキャッシュフローの増加による有価証券の増加(3,500百万円)、在庫圧縮による棚卸資産の減少(▲475百万円)
- ・固定資産:投資有価証券の評価額の減少(▲4,761百万円)

➤ 負債

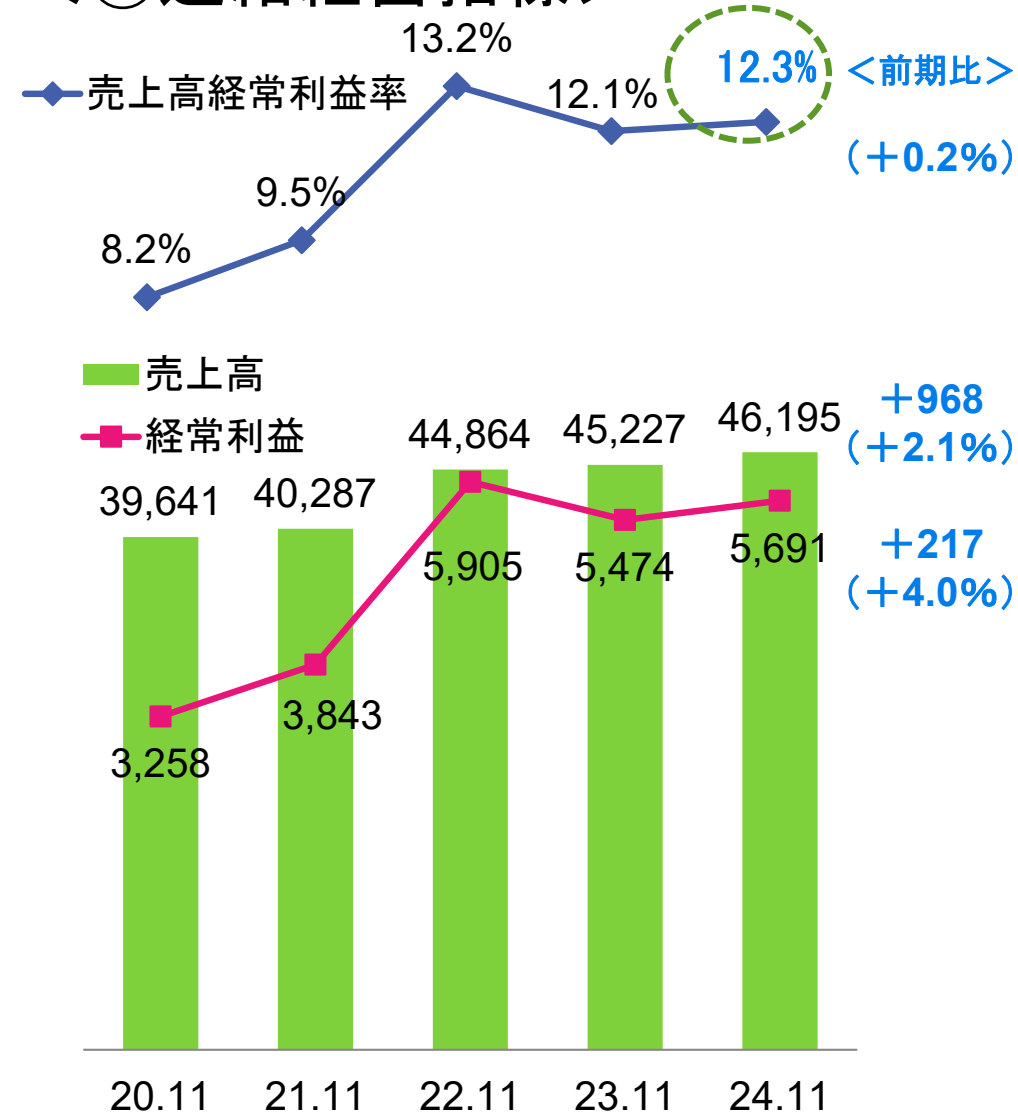
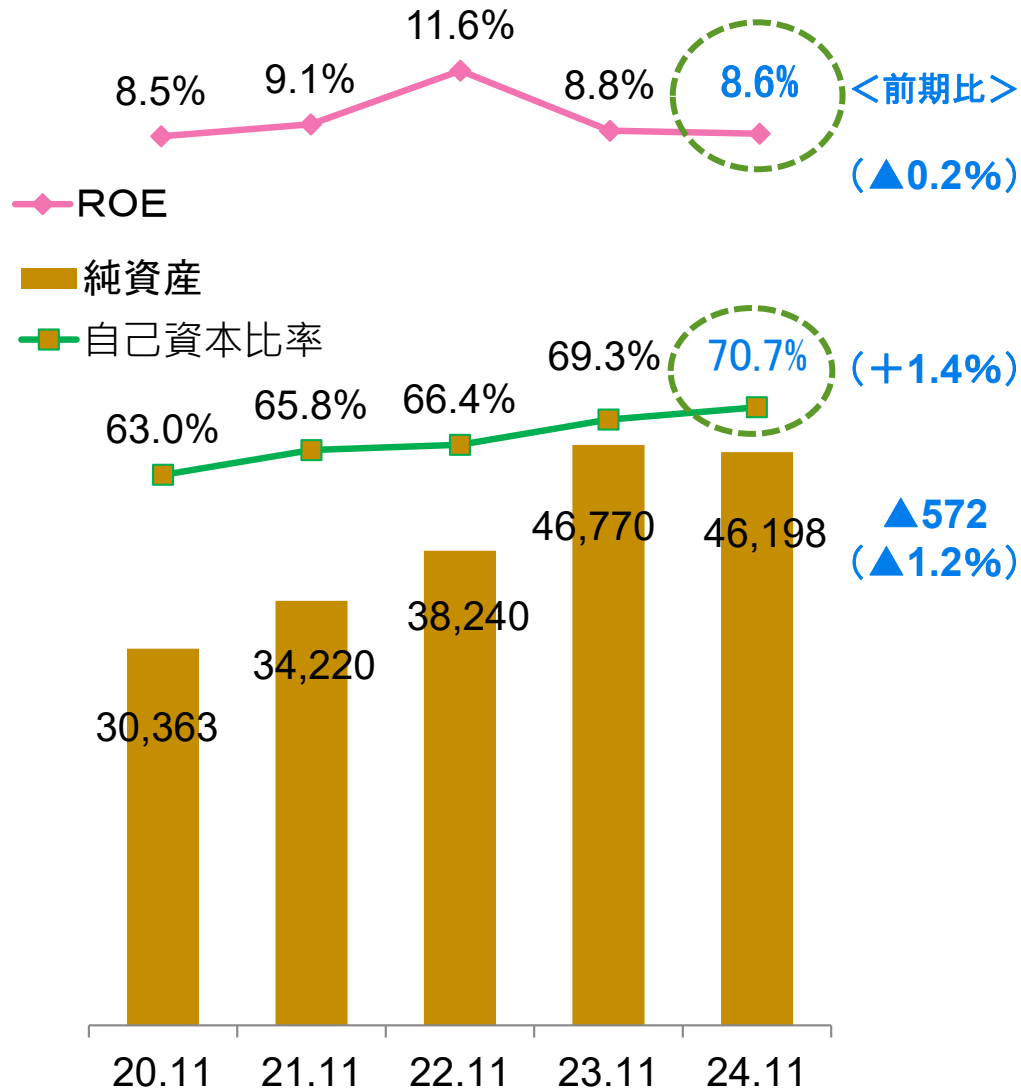
- ・投資有価証券の評価額の減少等による繰延税金負債の減少(▲1,324百万円)

➤ 純資産

- ・利益の積み上げによる増加(+3,248百万円)、投資有価証券の評価差額の減少(▲3,312百万円)、自己株式取得による減少(▲601百万円) ⇒ **自己資本比率は70.7%(前期比+1.4%)**

I 2024年11月期決算ハイライト <⑧連結経営指標>

(単位:百万円)



➤ 第2次3カ年経営計画の2026年度目標としている、ROE8%以上、自己資本比率60%以上、いずれの指標も達成

I 2024年11月期決算ハイライト <⑨株主還元>

<<基本的な考え方>>

財務の健全性や成長投資とのバランスを図りつつ、安定した配当の継続を基本に株主還元の充実に努める。

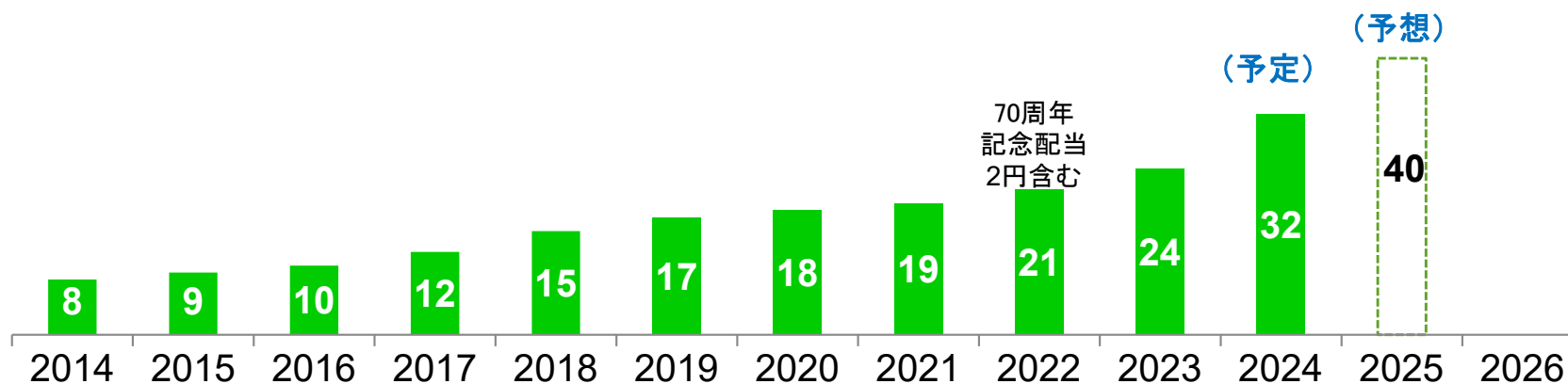
<<配当方針>>

本経営計画(2024~2026年度)において、累進配当を基本方針とし、利益の成長に応じた増配を目指す。

累進配当:原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を行う配当政策

1株あたり配当金の推移(円)

<経営計画期間>
累進配当方針



配当金総額	221	248	276	327	406	460	487	515	569	650	859	-
配当性向	22.1%	13.1%	14.0%	16.5%	13.8%	16.3%	20.3%	17.6%	13.5%	17.5%	21.6%	27.7%
総還元性向	22.1%	13.1%	14.0%	31.5%	13.8%	16.3%	20.3%	17.6%	13.5%	17.5%	36.5%	(38.0%)
自己株式取得	-	-	-	300	-	-	-	-	-	-	601	(399)

※2024年10月に10億円(上限)の自己株式取得を決定(2024年11月末取得額601百万円)

2025年度の総還元性向は上記自己株式取得の残額(399百万円)を取得した場合の予想数値を記載しております。



Ⅱ 2025年11月期連結業績予想

□ 連結業績予想

(百万円)

	2024/11実績	2025/11予想	増減	増減率
売上高	46,195 (100%)	47,500 (100%)	+1,305	+2.8%
営業利益	4,540 (9.8%)	4,750 (10.0%)	+210	+4.6%
経常利益	5,691 (12.3%)	5,700 (12.0%)	+9	+0.2%
当期純利益	4,006 (8.7%)	3,850 (8.1%)	▲156	▲3.9%

◆想定為替レート(1米ドル=)・・・ 2024年:130円(実績:150.95円)、2025年:140円

- 売上高は、農薬事業での国内販売・海外輸出の堅調な伸び、ファインケミカル事業での電子材料分野の伸長や医農薬分野の需要回復等により、増収の見込み
- 営業利益は、ファインケミカル事業における売上高の増加を主因に、増益の見込み
- 経常利益は、為替差益の減少(2024年度 95百万円)などにより、前期と同水準の見込み
- 当期純利益は、減益の見込み

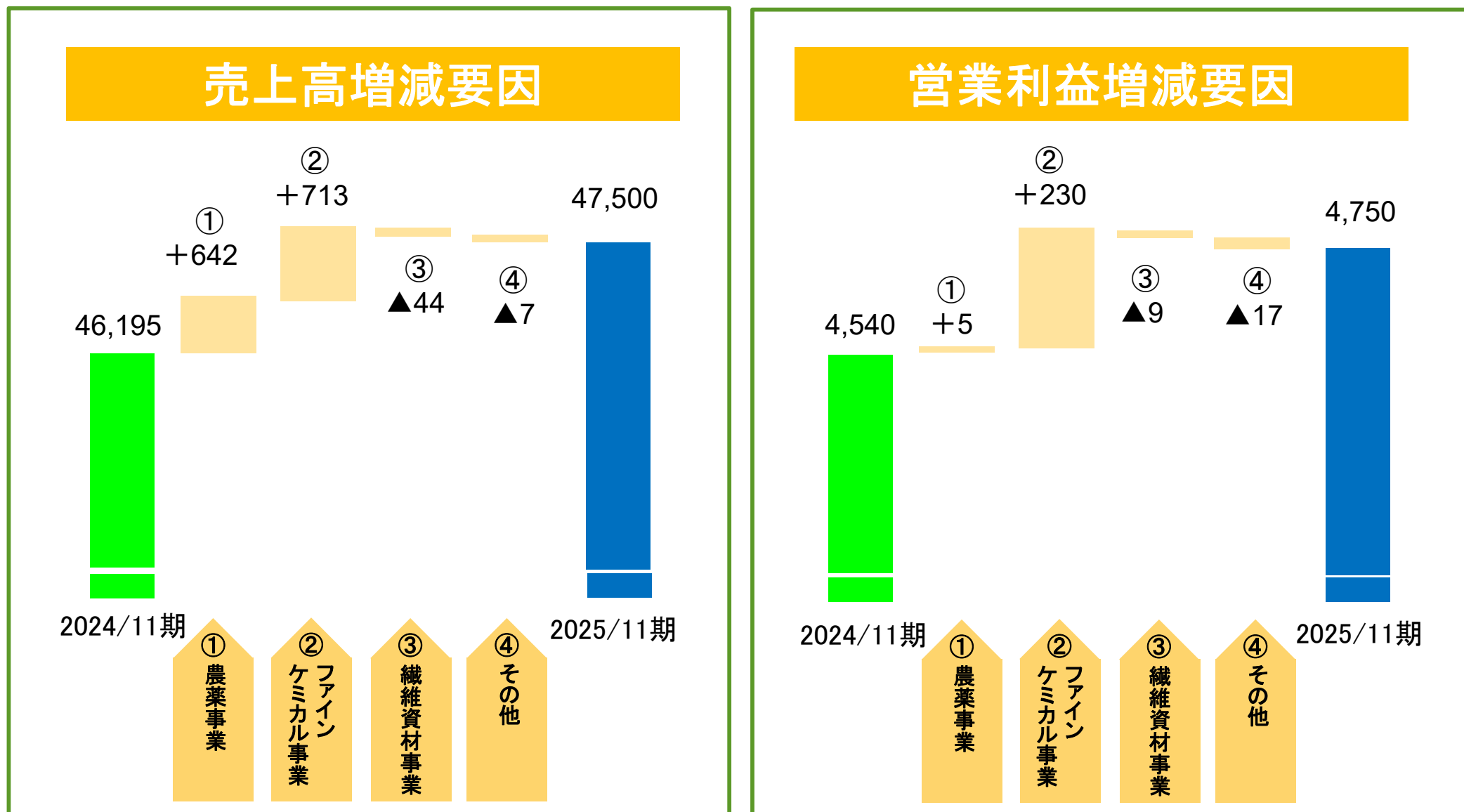


□ セグメント別連結業績予想

		2024/11 実績	2025/11 予想	増減	増減率	見込み
農薬事業	売上高	26,658	27,300	+642	+2.4%	国内販売は、園芸剤を中心とする堅調な販売により、増収となる見込み、海外販売については自社原体イプフェンカルバゾンの売上増加等により、増収となる見込み。 (2025年度想定為替レート 1米ドル=140円)
	営業利益 (利益率)	405 (1.5%)	410 (1.5%)	+5	+1.2%	成長投資に伴うコストの増加(原体再評価・新製剤開発に伴う研究開発費、海外登録費用等)などがあり、増益となった前期と同水準を見込む。
ファインケミカル事業	売上高	17,607	18,320	+713	+4.1%	電子材料分野の伸長や医農薬分野の需要回復等により、増収となる見込み。
	営業利益 (利益率)	4,060 (23.1%)	4,290 (23.4%)	+230	+5.7%	樹脂分野における価格競争の影響が続くものの、売上高の増加により増益を見込む。
繊維資材事業	売上高	1,919	1,875	▲44	▲2.3%	産業用繊維素材やアパレル素材の需要減少により、減収となる見込み。
	営業利益 (利益率)	89 (4.6%)	80 (4.3%)	▲9	▲9.6%	減収により、減益を見込む。



□ 連結業績予想(売上高・営業利益増減見込)



Ⅲ 第2次3カ年経営計画 (2024年度～2026年度) への取組状況

第2次3カ年経営計画(2024年度～2026年度)への取組状況

1. 岡山工場のファインケミカル事業専用化(Step1)の推進

- KrFレジスト用原料専用の新工場建設を決定(2026年12月竣工予定)。既存工場を加えたKrFレジスト用原料の生産能力は概ね2倍になり、2032年度の同製品売上高44億円を目指す(2024年度実績19億円)
- 半導体素材原料の供給体制増強等
- 工場内施設(危険物倉庫等)の再配置推進(除草粒剤生産ラインの跡地活用)

2. 農薬事業の収益力向上に向けた事業の再構築

- 国内農薬の生産体制の抜本的な見直しと成長する海外市場での売上拡大を柱とする事業再構築の方向性を明確化・具体化
- 生産拠点の集約化等を計画的に推進する。国内農薬の需要動向に対応し、生産体制・生産設備の最適化を図ってコストダウンを徹底(一部生産ラインの廃止、2030年度を目途に生産拠点集約)
- 成長ドライバーの自社原体イプフェンカルバン(水稻用除草剤)の海外登録国拡大を推進(世界最大の稲作地帯であるアジアを中心に登録を推進。2024年度はインドで新規取得し登録国は5カ国に拡大)収益性の高い海外売上高の比率を引き上げ(農薬事業の海外売上高比率15.5%(2024年度))

3. 岡山工場ファインケミカル事業専用化Step2の方向性

- 次期3カ年経営計画(2027～2029年度)の専用化Step2として、農薬事業の生産体制を2拠点(北海道工場、新潟工場)に集約し、岡山工場のファインケミカル事業専用化を実現して同事業の持続的な生産能力増強を目指す

《岡山工場の農薬生産機能》

- ①除草粒剤生産ライン⇒北海道工場(2022年10月新ライン竣工)に移管完了
- ②一般粒剤(育苗箱剤)⇒新潟工場での生産開始を推進(2030年度を目途)

【参考資料】 2024年11月期決算時系列データ

□ 連結業績

(百万円)

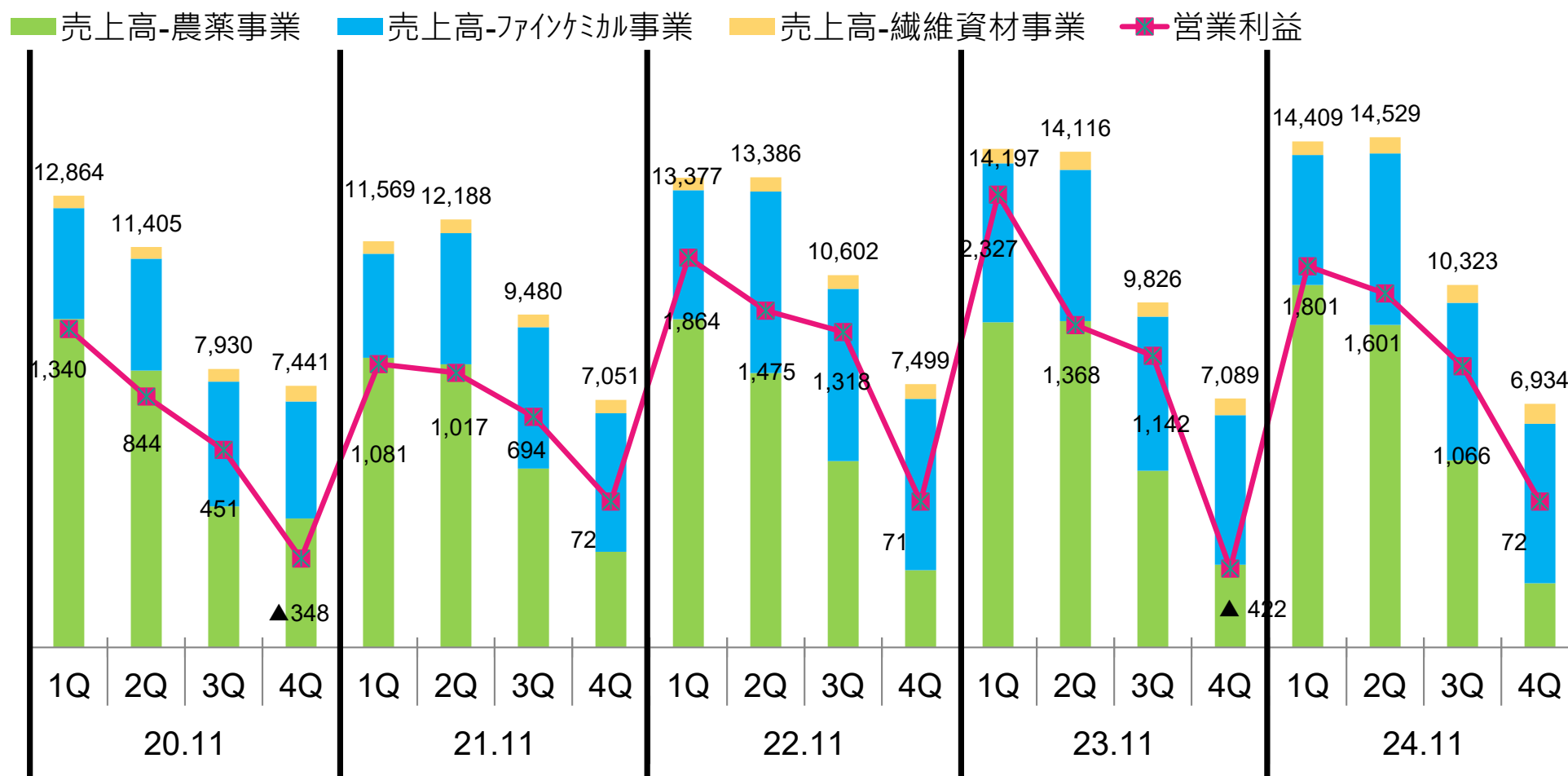
	2020/11	2021/11	2022/11	2023/11	2024/11	前期比	増減率
売上高	39,641 (100.0%)	40,287 (100.0%)	44,864 (100.0%)	45,227 (100.0%)	46,195 (100.0%)	+968	+2.1%
営業利益	2,287 (5.8%)	2,865 (7.1%)	4,727 (10.5%)	4,417 (9.8%)	4,540 (9.8%)	+123	+2.8%
経常利益	3,258 (8.2%)	3,843 (9.5%)	5,905 (13.2%)	5,474 (12.1%)	5,691 (12.3%)	+217	+4.0%
当期純利益	2,400 (6.1%)	2,927 (7.3%)	4,214 (9.4%)	3,724 (8.2%)	4,006 (8.7%)	+282	+7.6%

◆想定為替レート(1米ドル=)・・・ 2024年:130円



□ 連結業績（四半期毎の推移）

（百万円）



- 農薬の需要は季節性があることから、当社の売上・利益の計上は上期に集中し、下期以降は減少する事業特性がある
- 下期は翌春の需要期に備えた生産に入るため、不需要期の販売減少の一方で、製造コストがかかってくる

□ 連結業績（四半期毎：前期比）

➤ 【農薬事業】

第4四半期（9～11月）は、第3四半期まで販売が好調に推移したこともあり減収。期末での棚卸資産評価損の減少等により、増益

➤ 【ファインケミカル事業】

樹脂分野のその他樹脂原料や電子材料分野の売上が、前期比で増加したことなどから、増収・増益。前期（2023年度第4四半期）は、取引先の在庫調整等の影響を受け、樹脂分野等の需要が低調であった

〔①2024年度〕

〔②2023年度〕

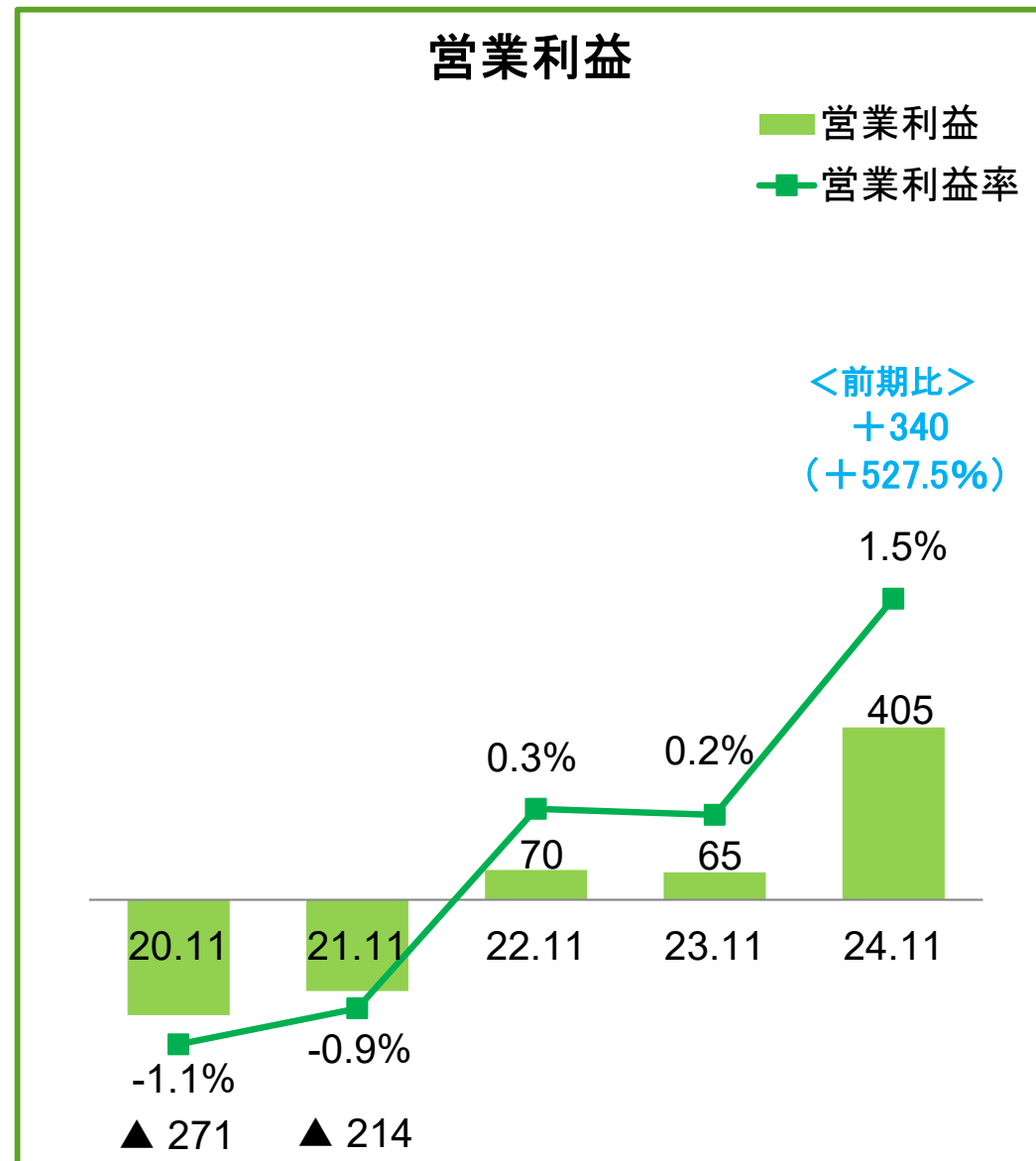
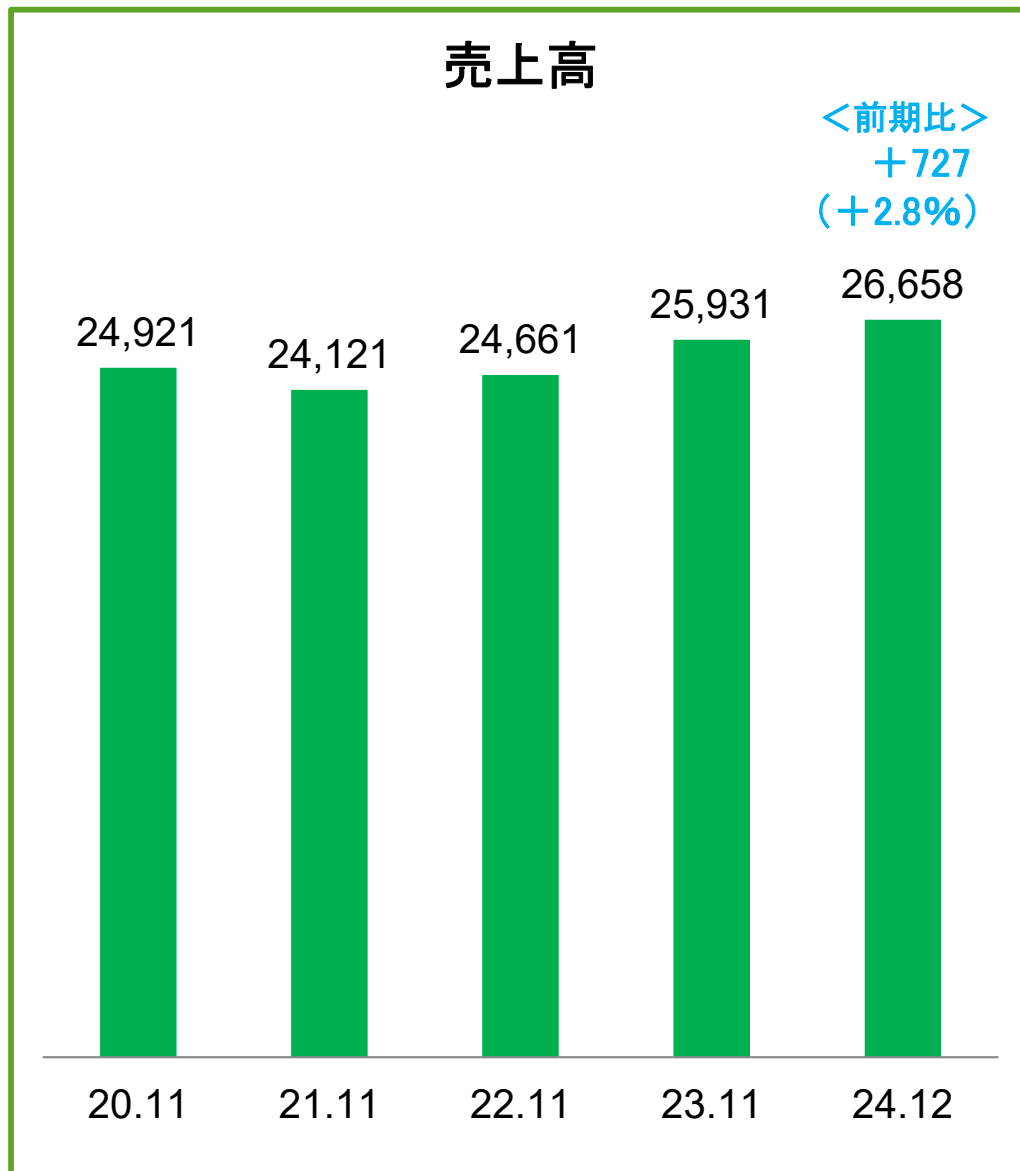
〔①－②前年同期比〕 （単位：百万円）

セグメント	項目	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
農薬事業	売上高	10,317	9,183	5,330	1,828	9,256	9,288	5,032	2,355	+1,061	▲105	+298	▲527
	営業利益 (利益率)	937 (9.1%)	247 (2.7%)	75 (1.4%)	▲854 (▲46.7%)	959 (10.4%)	246 (2.7%)	60 (1.2%)	▲1,201 (▲51.0%)	▲22 (▲1.3P)	+1 (+0.0P)	+15 (+0.2P)	+347 (+4.3P)
ファインケミカル事業	売上高	3,703	4,883	4,481	4,540	4,524	4,309	4,383	4,254	▲821	+574	+98	+285
	営業利益 (利益率)	854 (23.1%)	1,337 (27.4%)	964 (21.5%)	904 (19.9%)	1,353 (29.9%)	1,096 (25.4%)	1,067 (24.3%)	753 (17.7%)	▲499 (▲6.8P)	+241 (+1.9P)	▲102 (▲2.8P)	+151 (+2.2P)
繊維資材事業	売上高	386	460	508	564	413	516	407	477	▲27	▲56	+101	+88
	営業利益 (利益率)	11 (3.0%)	22 (4.7%)	29 (5.6%)	27 (4.8%)	17 (4.1%)	30 (5.8%)	17 (4.1%)	29 (6.2%)	▲5 (▲1.1P)	▲9 (▲1.1P)	+12 (+1.5P)	▲2 (▲1.4P)

□ セグメント別業績

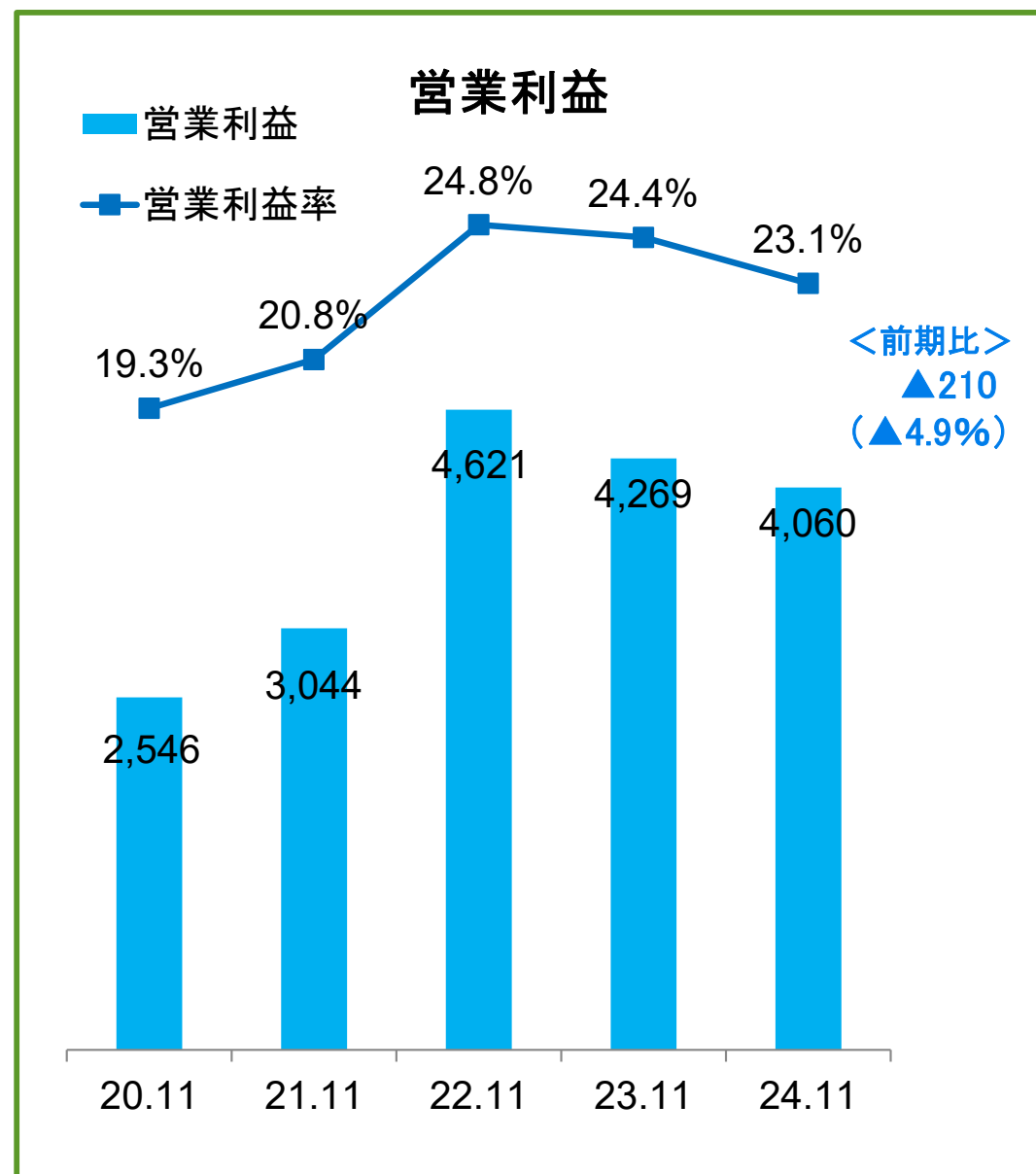
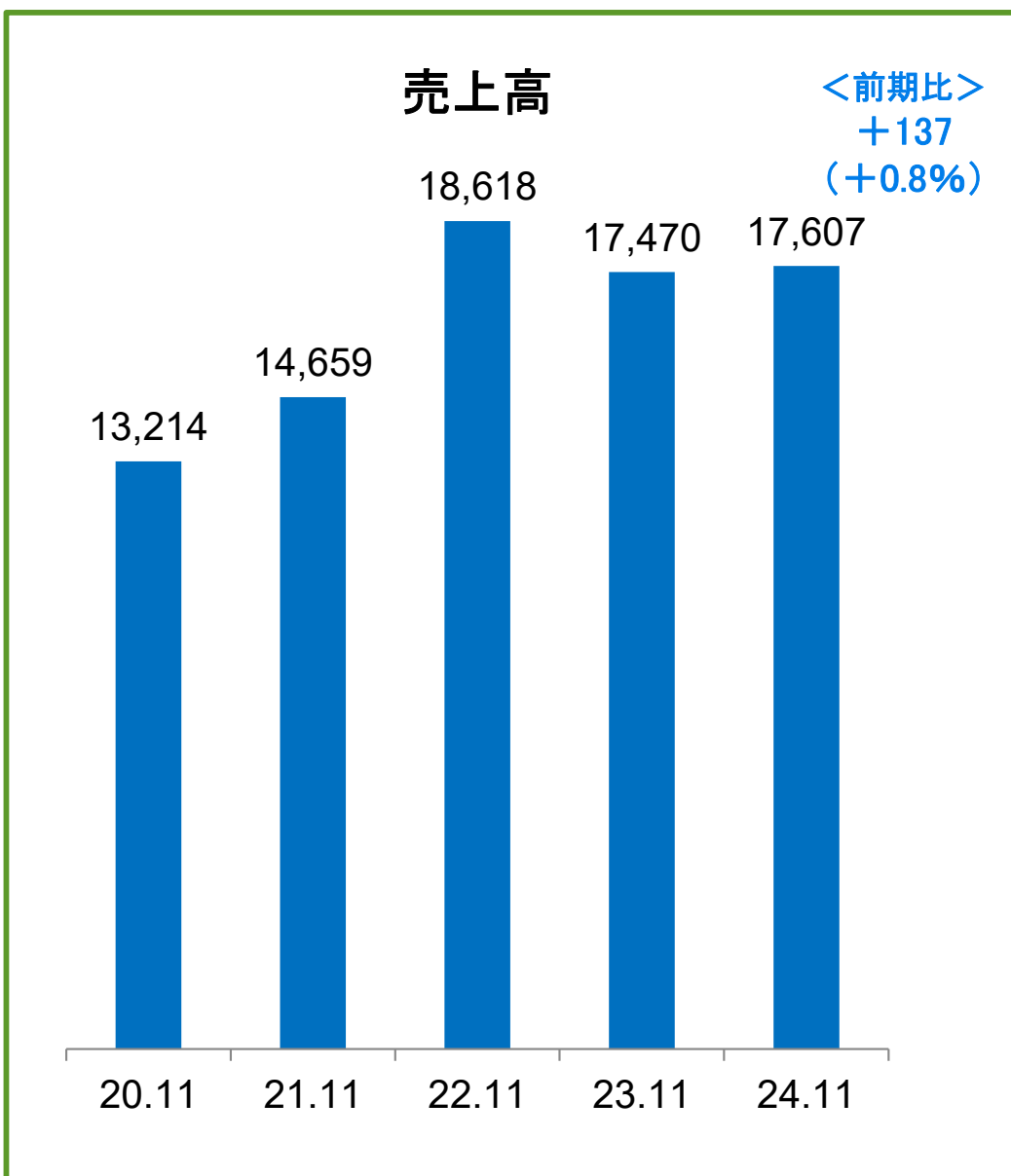
農薬事業

(百万円)



セグメント別業績 ファインケミカル事業

(百万円)

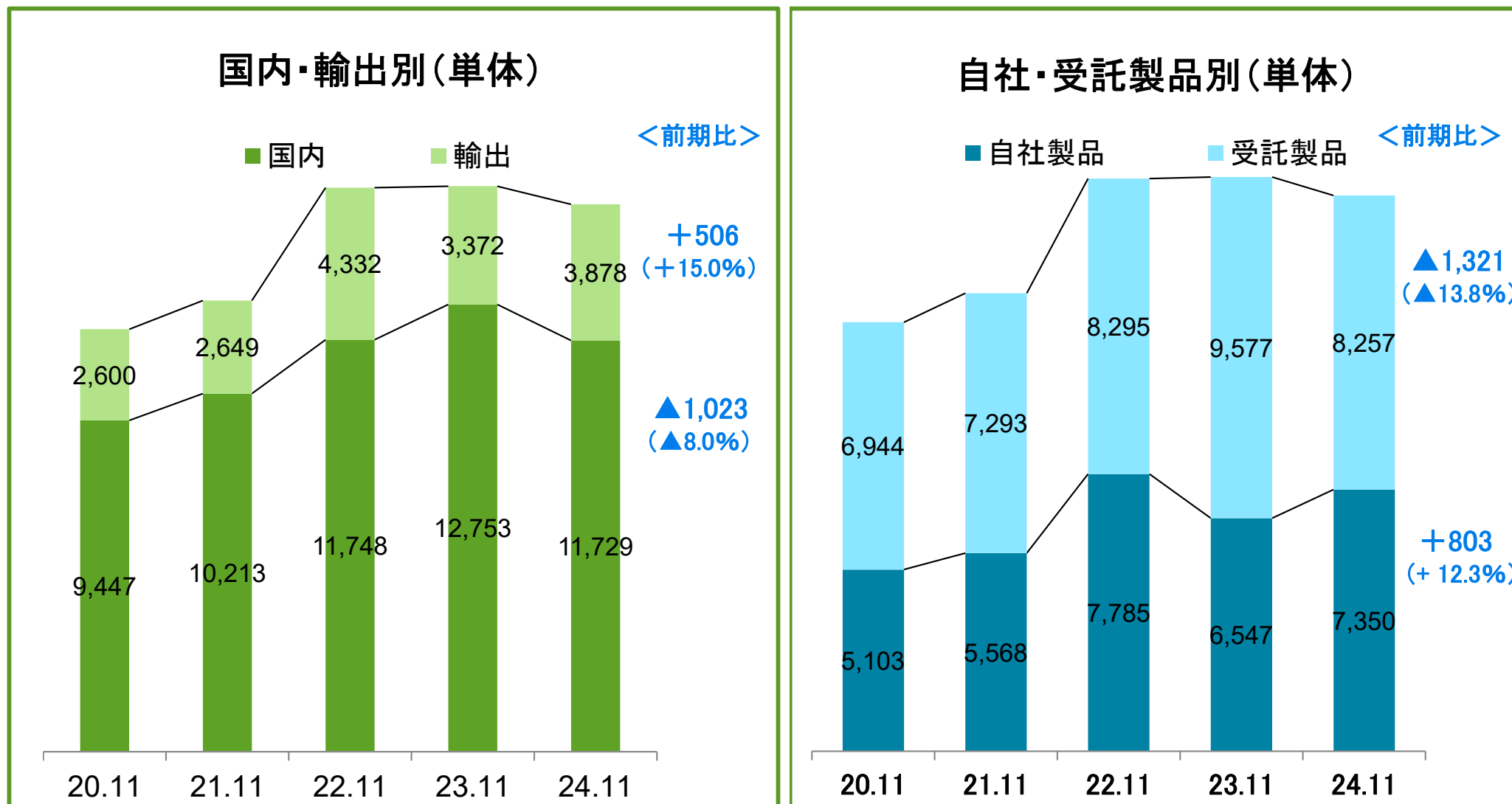


□ セグメント別業績

ファインケミカル事業

(国内輸出別・自社受託製品別売上高)

(百万円)



※総売上高による

□ 連結B/Sの推移

(百万円)

資産の部

<前期比>

▲2,157

(▲3.2%)

▲111

(▲1.0%)

▲475

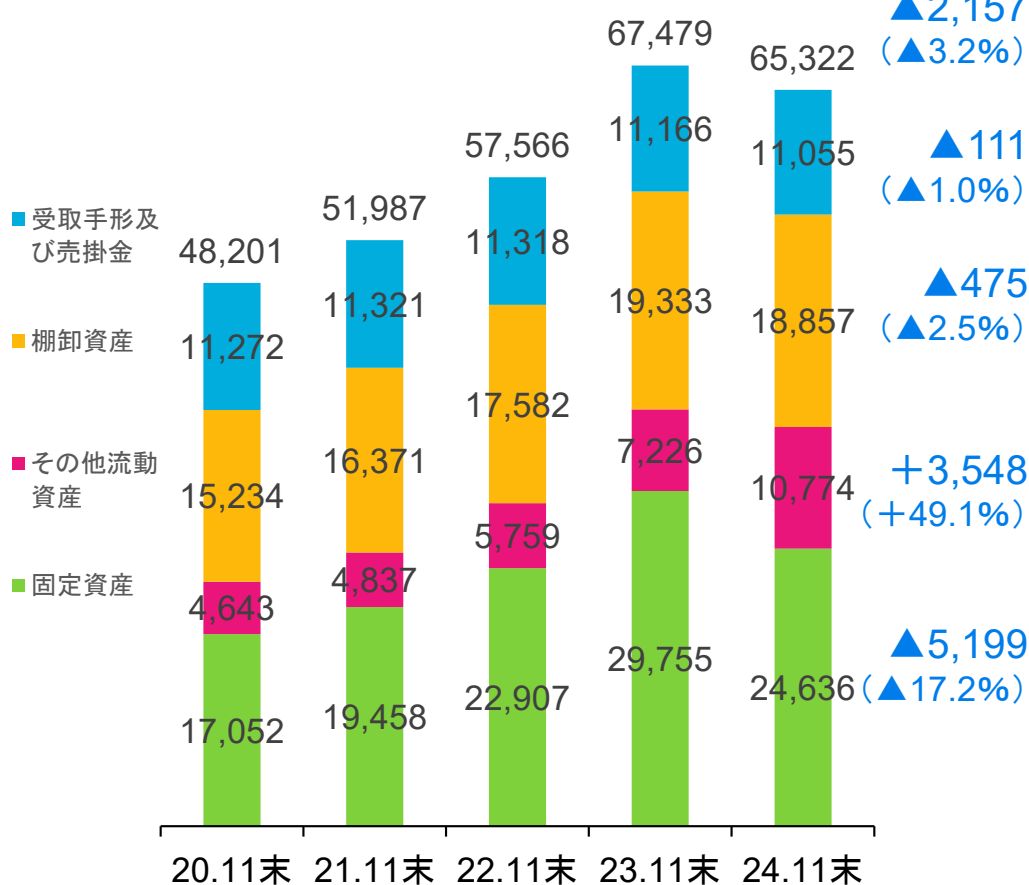
(▲2.5%)

+3,548

(+49.1%)

▲5,199

(▲17.2%)



負債・純資産の部

<前期比>

▲2,157

(▲3.2%)

▲321

(▲5.4%)

±0

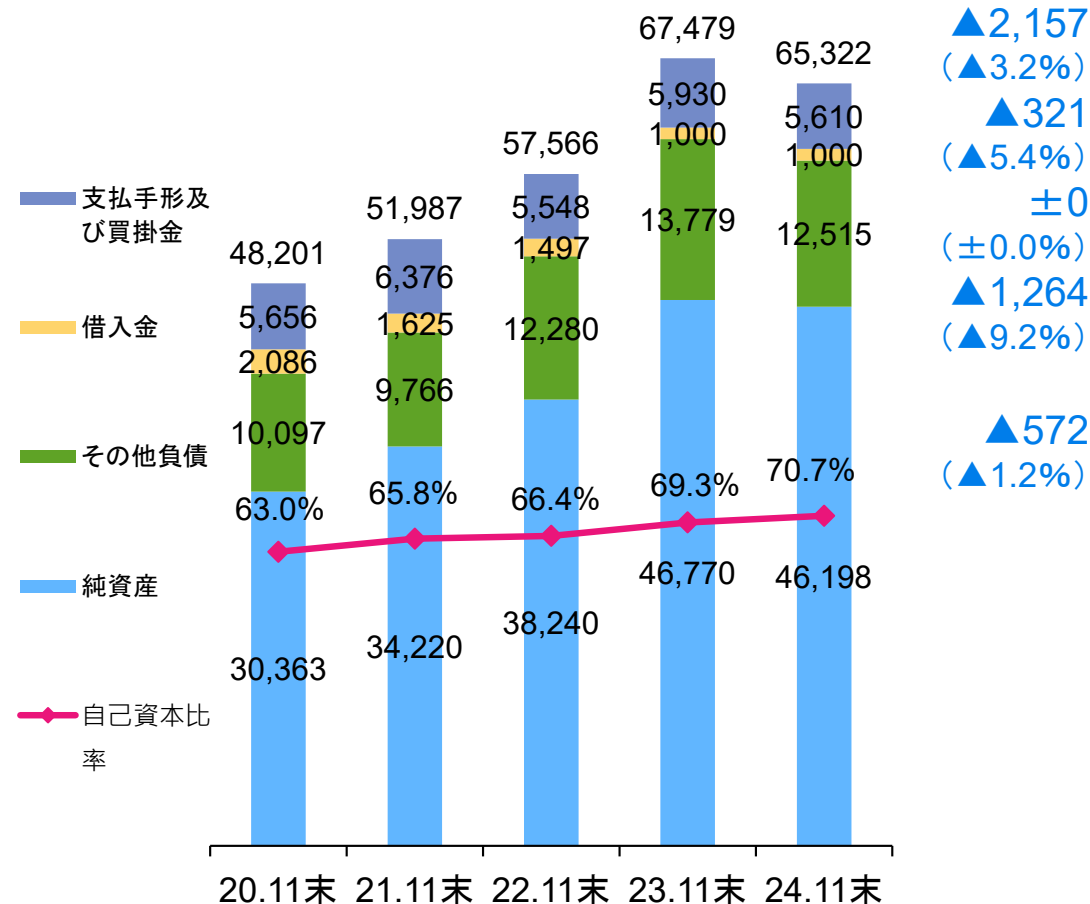
(±0.0%)

▲1,264

(▲9.2%)

▲572

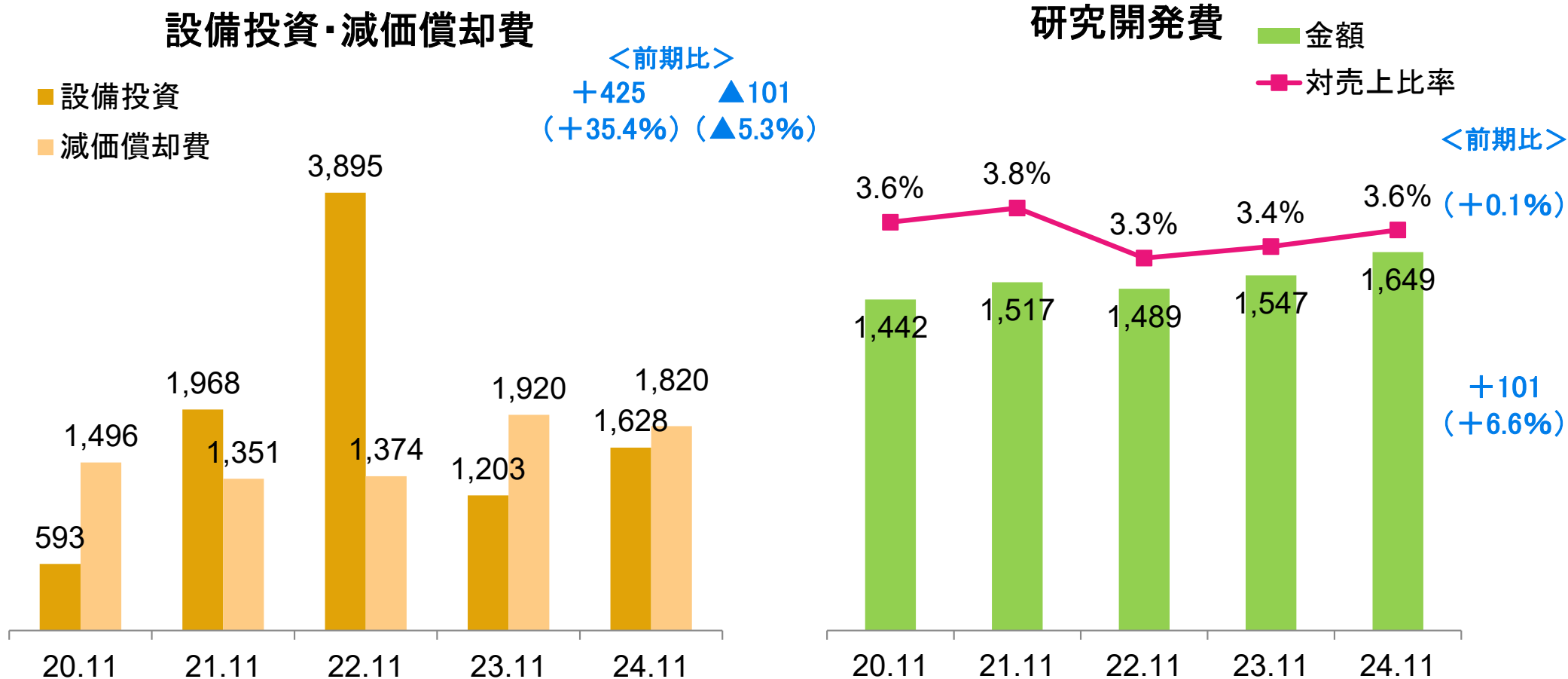
(▲1.2%)



➤ 利益の積み上げにより、自己資本比率は70.7%

□ 設備投資・研究開発費の実績

(百万円)



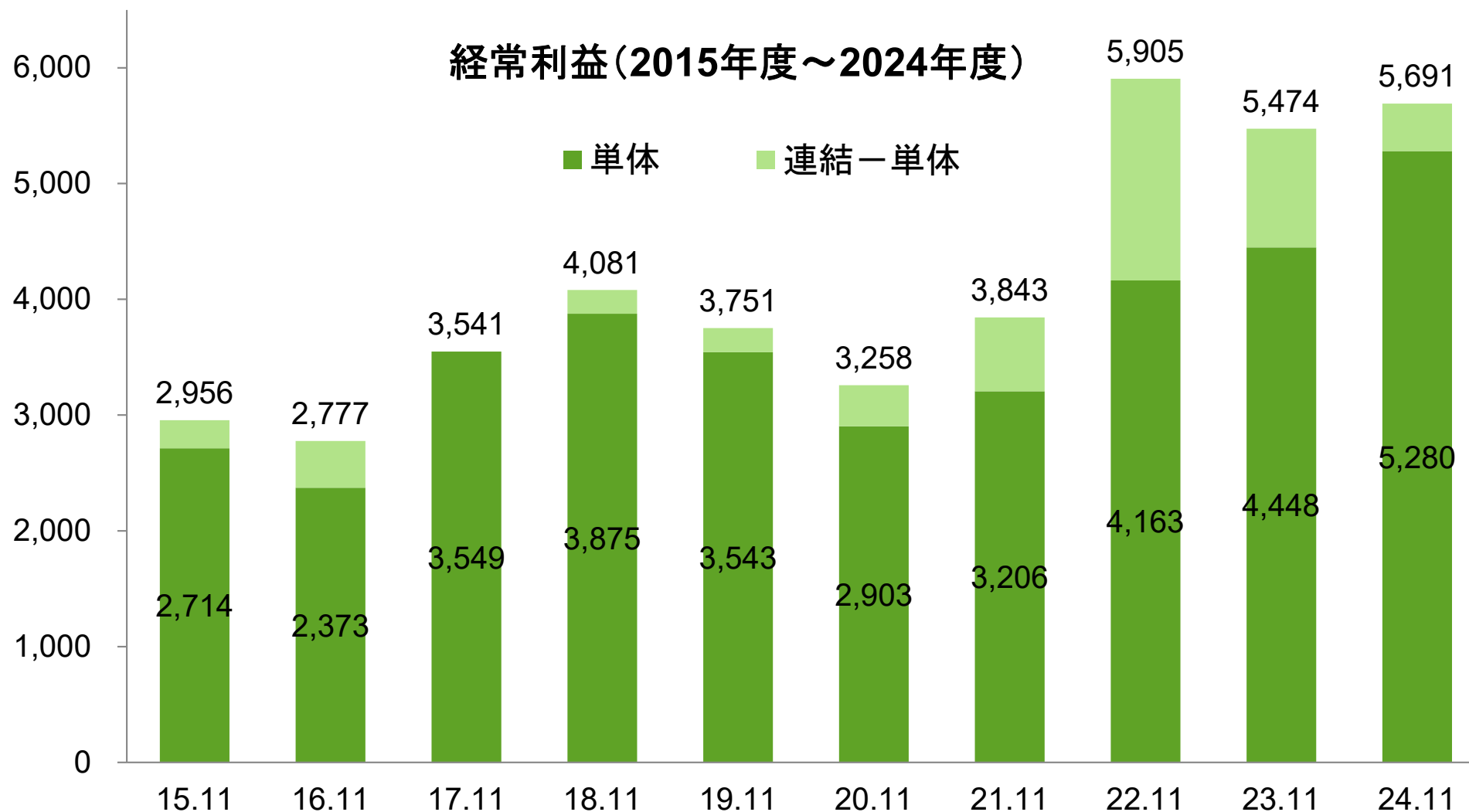
＜設備投資 補足説明＞

- 2021年11月期は、北海道新除草粒剤工場(988百万円※)を含む ※建設仮勘定計上額
- 2022年11月期は、北海道新除草粒剤工場(2,493百万円)を含む



□ 経常利益の推移

単位;百万円



➤ 当社単体では、2024年度の経常利益53億円は過去最高の水準



本資料に記載されている業績予想・将来の見通しに関する記述等に関しましては、現時点で得られた情報に基づいて判断・算定したものであり、実際の業績は、今後のマクロ経済動向および市場環境、並びに当社グループに関連する業界動向、またその他内部・外部要因等、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

■ お問い合わせ先

北興化学工業株式会社

企画部 IR担当

電話：03－3279－5151

FAX：03－3279－5195